

活動名：第2回安積野杯 兼 安積第三 SSS40 周年記念大会

日程：令和5年2月11日（土）～12日（日）

会場：鳥見山多目的広場

参加：T5・G（5・6年生）・L100（4年生）・E4 選抜 11名

結果：16位（16チーム中）

予選L 安積第三 SSS● 清水 SSS● 日新スリーエス●

順位T 蓬萊 FC● 薫 SSS● 沢田 SSS●

帯同：渡邊、渡邊真

報告：渡邊

大会終了後、ある選手が16位のトロフィーをかかげて言い切りました。

「このトロフィーは、僕たちの努力の結晶だ！」

それでは、第2回安積野杯兼安積第三 SSS40 周年記念大会に参加したので報告します。

6年生が主体となるチームが多いなか、アーレは学年が1つ下の世代で挑みました。

結果としては、全敗でしたが選手たちは、どの試合も最後まで諦めずに戦いぬくことができました。

初日はピッチに雪があり、ボールが止まってしまったり、足がすべったりと脚に負担がかかる状態で3試合を戦いぬきました。

2試合目の清水SSS戦では、フリーキックがポストに当たったり、シュートしたボールが水たまりで止まったりとチャンスがあったものの得点することは出来ませんでした。全体的に運動量もあり良いゲームをしていました。そして守備では、4年生GKが体を張ってゴールを必死に守ってくれたのも大きかったです。

二日目は、天気恵まれピッチの雪も解け、プレーしやすくなりましたが多くの選手が、初日の疲れが思いのほか残っており、軸足での踏ん張りが甘くキックの精度が著しく欠けた状態でした。それでも、みんなゴールを目指し最後まで相手に食らいつき、今持てる力を出し切ることが出来たと思います。

さきほども述べましたが結果は全敗でしたが、個々に焦点をあてると今後期待できることが沢山ありました。例えば、相手のドリブルに食らいつきフリーでシュート打たせなかったこと、フェイントを使ってのドリブル、縦への突破、裏への抜け出しなど、特にボールを持ったときは十分戦えることが分かりました。その反面、簡単に足を出して抜かれてしまう（ただ、そのあと諦めずに追いかけることが出来たシーンもあった）。相手をマークするという意識が低いなど、守備は課題が多く残りました。

選手ひとりひとりが主役になり、ピッチ上で表現してもらうため、「最後まで諦めずにやりきる」ことを二日間のテーマにしました。二日間で奪えたゴールは3点。テーマを体現した3点でした。みんなで攻めて、みんなで守り、必死に戦うことで生まれたゴールシーン。誰一人、気持ちで負けていなかったことで、どちらのチームが勝ったのかわからない雰囲気になった試合もありました。

さあ、T5クラスのメンバーは、4月からは最終学年です。もっとサッカーを楽しむためには、やはり自主練が必要です。まずはリフティング。プレーの幅が広がります。一人で

もできる練習なので、リフティングは頑張ってください。

最後に、父兄の皆様、二日間、朝から応援していただき、本当にありがとうございました。安積第三 SSS 様、大会を開催していただき、ありがとうございました。

コーチ 渡邊





